

# I 調査概要

## 1 調査目的

桜井保健所管内は全国、奈良県と比較しても高齢化率が高く、また、人工呼吸器や胃瘻などの医療処置が必要な難病や小児の患者が在宅で療養することも多くなっている。

こうしたなか、病気や障害をもちながらも住み慣れた地域で安心して暮らせる在宅医療支援体制の構築及び充実強化が急務と考えられる。

在宅医療支援体制の構築及び充実強化のための課題検討の基礎資料及び今後の進捗管理のため調査を実施した。

## 2 調査設計

- ① 対象施設：桜井保健所管内（橿原市・桜井市・宇陀市・磯城郡・宇陀郡・高市郡）の病院、診療所、歯科診療所、在宅患者訪問薬剤管理指導薬局、居宅介護支援事業所、訪問看護ステーション、地域包括支援センター、老人保健施設、特別養護老人ホーム、グループホーム、小規模多機能型居宅介護事業所（634カ所）
- ② 調査期間：平成25年12月11日～平成25年12月27日
- ③ 調査方法：アンケート用紙と返信用封筒を郵送し回収

## 3 調査項目

施設の基本情報、在宅医療等に関する評価・問題点、在宅医療等実施状況・医療処置等・実績、医療介護の連携状況・実績・連携機関、緊急時受け入れ先、在宅医療の課題、自由意見を基本型として、対象施設により若干の項目変更を行った。

## 4 回収結果

対象機関名	対象機関数	回答数	回答率
① 診療所	201	144	71.6%
② 病院	16	16	100.0%
③ 歯科診療所	141	99	70.2%
④ 在宅患者訪問薬剤管理指導薬局	72	54	75.0%
⑤ 居宅介護支援事業所	110	75	68.2%
⑥ 訪問看護ステーション	20	17	85.0%
⑦ 地域包括支援センター	13	12	92.3%
⑧ 老人保健施設	10	8	80.0%
⑨ 特別養護老人ホーム	19	17	89.5%
⑩ グループホーム	23	10	43.5%
⑪ 小規模多機能型居宅介護事業所	9	8	88.9%
合計	634	460	72.6%

## 5 報告書の見方

- ① 比率は全て百分率(%)で示し、小数点以下第2位を四捨五入して算出している。このため、100.0%とならない場合がある。
- ② それぞれの表中の「n数」とは、当該設問に対する回答者数を示す。
- ③ 「複数回答」とは、1施設が2つ以上の回答をしてもよい設問をいう。